

学校の沿革

平成28年	笛川小学校が開校 校歌披露式実施 文部科学省「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」指定 校舎改修工事（6月～8月） スクールバス車庫竣工
平成29年	文部科学省「教育課程特例校」（小学校英語科）市全学校 文部科学省「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」指定 山梨県教育委員会「小中連携研究推進校」指定 山梨市教育委員会「山梨市ICT教育推進指定校」指定 校務支援ソフトの導入、体育館トイレ改修工事
平成30年	環境大臣表彰受賞「地域環境保全功労者表彰」 55インチ大型液晶モニター・スタンド（4台） プロジェクター・専用台・スクリーン（各1台）設置 市給食センター稼働に伴う給食配膳室改修・プラットホーム設置
平成31年 (令和元年)	山梨県教育委員会「小中連携研究推進校」指定笛川小・中拡大校内研究会実施 校舎南側転落防止ネットフェンス修理 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業
令和2年度	文部科学省「教育課程特例校」（小学校英語科）市全学校 新型コロナウイルス感染症対策に伴う臨時休業（4月9日～5月1日）
令和3年度	文部科学省GIGAスクール構想一人一台端末導入（3月） オリエンピックパラリンピック教育推進事業（5月）
令和4年度	笛川小・中学校運営協議会設置及び運営 校庭外トイレリフォーム工事（1月～2月）
令和5年度	乙女高原学習会（9月） 学校アドウ園収穫体験（9月） 令和吉祥太鼓発表（10月） 緑の活動発表会 地区代表 優秀賞（11月） 体育館照明LED化工事（7月・12月） 「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」推進校指定
令和6年度	ICT教育環境整備のため大型モニター等贈呈（1月）（笛川小・中学校） 「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」推進校指定 義務教育学校に向けた説明会（10月・11月・12月）
令和7年度	義務教育学校試行

学校経営の概要

1 校訓	「自主自立」
2 学校教育目標	地域に誇りをもち、豊かに自立する子どもの育成 みんなの合い言葉「笛川の子、かしこく なかよく たくましく」
3 教育方針	○地域とともに子どもを育てる教育（コミュニティ・スクール） ○ほめて育てる教育（自己肯定感の育成） ○「わかる・できる」授業をめざす教育（確かな学力）
4 めざす子どもの姿	○自ら考え表現し、学び合う子ども（かしこく）<知> ○他の良さを認め、友達を思いやる子ども（なかよく）<徳> ○命を大切にし、進んで体を鍛える子ども（たくましく）<体>
5 めざす学校の姿	日本一の学校 「あいさつ日本一」「なかよし日本一」「はみがき日本一」 ○学校に誇りを持ち、地域とつながり合う学校 ○磨き合う教師団による教育力のある学校 ○子どもに寄り添い、一人ひとりが大切にされる学校
6 めざす職員の姿	○子どもに寄り添い、子どもを大切にする職員 ○研究・研修に励み、磨き合う職員 ○同僚を大切にし、協働して組織対応できる職員
7 学校経営方針	(1) 学校教育指導重点の趣旨を踏まえ、職員共通理解の中で教育目標を具現化する。 (2) 児童の実態や地域に根ざし義務教育9年間を見通した特色ある教育課程の編成について創意工夫する。 (3) 小中連携強化に積極的に取り組み、指導内容や指導方法について共通理解を深める。 (4) 授業を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、学習者主体の授業づくりに取り組む。 (5) 基礎的・基本的内容の確実な定着のため、個に応じたきめ細かな指導を行う。 (6) 地域とともにあるコミュニティ・スクールとして、家庭、地域と連携し開かれた学校を築く。 (7) 信頼し合い、磨き合い、協力し合う、明るく活気ある職場をつくる。 (8) 適切な児童理解や一人ひとりの居場所づくりを進め、望ましい集団づくりを進める。

8 学校経営の努力点

- (1) 生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、確かな学力を育む指導と評価を行う。
 ① 基礎基本の確実な習得・定着に努め、基礎的・基本的な知識・技能を活用した学習活動を展開する。
 ② 学習課題、学び方、自らの学習を振り返る場面を設定するなどし学習者主体の授業づくりを進める。
 ③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりを進める。
 ④ 山梨市の方針に則って英語教育を充実させる。
 ⑤ さわやかタイムを有効活用する。
 ⑥ 学習規律を徹底し、児童の実態に即して家庭学習と授業を有機的に結びつける。
- (2) 豊かな心を育成する指導を進める。
 ① いじめの早期発見・迅速対応に心がけ、適切な児童理解に基づく相談体制を充実させる。
 ② 道徳の授業を中心に、全教育活動の機会を捉えて道徳的実践力を養い、命を大切にすることを育成する。
 ③ あいさつ運動や花いっぱい運動、清掃・美化活動を充実させる。
 ④ 読書活動や歌声活動を通して、豊かな感性を養う。
 ⑤ 小中学校の連携を充実させ、異年齢縦割集団活動を活性化させる。
 ⑥ 学社連携を深め、しなやかな心の育成に向け、お互いのよきを認め合う活動を進める。
- (3) 基本的生活態度の育成と健康安全や体力の向上をめざした取組を充実させる。
 ① 保護者と連携しながら基本的生活習慣を定着させる。
 ② 体力づくり一校一実践計画の実施等、日常的な運動習慣を定着させる。
 ③ 健康安全計画に基づいた安全指導を着実に行う。
 ④ 食に関する指導計画に基づいて、食育を充実させる。
 ⑤ 創意ある、工夫された体育的行事を実施する。
- (4) ICTの活用、情報モラル教育を一体的に進める。
 ① 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるための手段として、ICT機器の積極的な活用に取り組む。
 ② 学校と家庭が連携し、アウトメディアの取組やSNSのリスクに関する学習を進める等、情報モラル教育を充実させる。
- (5) 特別支援教育の充実を進める。
 ① 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、特別な支援や配慮が必要な児童の実態を把握しながら、個の特性に配慮した指導を行う。
 ② 特別支援学級と交流学級の連携を深め、インクルーシブ教育の充実に努める。
 ③ 特別支援学級、交流学級担任双方が互いの在籍児童の担任として積極的に指導を行う。
- (6) 安全・安心を基盤とし、家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。
 ① コミュニティ・スクール（学校運営協議会）制度を活用し、学校の課題解決に向けた熟議・協働を進める。
 ② 地域で学ぶ、地域を学ぶ、地域の人々から学ぶ、学習活動を展開する。
 ③ 目標、実行、評価、改善のPDCAサイクルに基づき、適切な評価と改善を進める。
 ④ 家庭・地域と連携し、保護者・地域の人々が参加する教育活動を工夫する。
 ⑤ 実践的な訓練を実施することにより、防災・防犯の意識や能力を高める。
 ⑥ 積極的に学校の様子を知らせ、家庭・地域の声を聞く場を設ける。
- (7) 小中連携を推進し、9年間を見通した教育活動を展開する。
 ① 教職員間の連携
 ・ 小中連絡会議・小中ブロック交流会等を通して相互理解を深める。
 ② 学びづくり
 ・ 小中学校が連携し、地域の資源・人材を活用した義務教育9年間の教育活動の工夫を進める。
 ・ 小中学校が連携し教科担任制を積極的に導入し、授業力向上に向けた取組を進める。
 ③ 心づくり
 ・ 児童会・生徒会の交流を充実させる。
 ・ 中学校での教育体験活動を通じ、縦割りの人間関係を充実させ、社会性の伸長を目指す。

児童数・家庭数（令和7年5月1日現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男 子	10 (3)	11	9 (1)	21 (3)	9 (1)	20 (3)	80 (11)
女 子	10	5	15 (1)	2	11 (1)	15 (2)	58 (4)
合計	20	16	24	23	20	35	138
家庭数	8	10	8	17	20	35	98

() は特別支援学級児童数（内数）

教職員一覧

職名	氏名	担任	校務分掌
校長	田草川 富夫		学校経営
教頭	廣瀬 剛		学校運営・児童支援・安全管理・学校運営教議会・環境整備・防災教育
教諭	檜垣 貴子		教務・教育課程・いきいき人材・理科主任・支援員時間割・スクールバス
教諭	小椋 晃美		低学年主任・図工主任・PBL主任
教諭	柳澤 晴子	1年	給食主任・幼保小連携・生活科主任
教諭	奥山 悠衣香	2年	道徳主任・人権福祉教育
教諭	保坂 千恵子		中学年主任・算数主任・PBL副主任
教諭	古谷 奈都美	3年	国語主任・図書館主任・研究副主任
教諭	平山 沙織	4年	研究主任・総合的な学習の時間担当
教諭	向山 澄	5年	体育主任・エコース担当・金錢教育
教諭	武居 拓己	6年	児童会主任・緑の少年隊・家庭科主任
教諭	雨宮 正倫	専科	理科副主任
教諭	相澤 拓実	こだま	視聴覚・情報教育
教諭	鶴田 望	つつみ	外国語主任・国際理解教育 道徳教育推進教師
教諭	小林 宏美	ことのね 1	特別支援教育コーディネーター 音楽主任・キャリア教育
教諭	橋田 実	ことのね 2	特別支援教育コーディネーター 特別支援学級主任・社会主任
教諭	遊免阿吏沙	かがやき	特別支援教育コーディネーター 生徒指導主任・図工副主任
教諭	永闌 亜美	通級指導	通級指導主任
教諭	金子 佐由美	通級指導	通級指導教室・環境教育
非常勤講師	新谷 雅美	通級指導	通級指導教室（年700時間）
養護教諭	丸山 沙緒里		保健主事・衛生管理
事務職員	久保寺 章夫		学校事務
司書	齋藤 久美子		司書（月・火・木・金勤務）家庭科専科
用務員	雨宮 社		学校用務
支援員	駒田 覚		児童支援
支援員	安藤 麻衣		児童支援
給食配膳補助員	高橋 清美		配膳補助
栄養士	齊藤 愛実		給食・食育（火勤務）給食センター本務
スクールカウンセラー	小泉 里菜		年間51時間（金勤務）17日

校内研究の概要

1 研究主題

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくり」
～自ら課題を見つけ、自ら解決しようとする児童の育成～

2 主題設定の理由

学習指導要領において、子どもの興味・関心を生かした自主的、主体的な学習が促されるよう工夫することを求めるなど、「個に応じた指導」が重視されている。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）では、「学校における授業づくりに当たっては、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の要素が組み合わさせて実現されていくことが多いと考えられる。各学校においては、教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、授業の中で『個別最適な学び』の成果を『協働的な学び』に生かし、更にその成果を『個別最適な学び』に還元するなど、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善につなげていくことが必要である。」と記されている。

また、「教育振興基本計画を踏まえた山梨県が目指す学校教育」では、自立した学習者の育成を目指し、子ども主体の授業観の転換を推進し、多様な他者と協働したり、自己調整したりして学習を進めていく『子ども主体』の授業への転換を挙げている。

本校は、昨年度「個別最適な学び」と「協働的な学び」を支えるために、教師の指導・支援の在り方やICTの活用について研究を進めてきた。研究授業や一人一実践では、探求プロセスでの授業を意識した授業展開の中で、児童は学習課題や学び方を選択したり、課題解決に向けて周囲の人とかかわったりする姿が見られた。しかしながら、適切に情報を集めたり、自分の考えとして再構築させて表現したりすることなどの課題も挙げられた。

今年度は、自ら課題を見つけ、自ら解決しようとする児童の育成を目指し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくりについてさらに研究を深めていきたい。

3 研究の具体的な内容と方法

- (1) 探求プロセスを使った問題解決能力を高める授業改善
 - ・「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」「振り返り」までを意識した学習過程で授業を進める。
- (2) クラウド環境・アプリを活用した授業改善の3つの柱(LDXとの関連)
 - ・児童に本時の学習の見通しをもたせる。
 - ・児童が学習の仕方を選択できる場面をつくる。
 - ・本時の振り返りを行う。
- (3) 個別最適な学び・協働的な学びを支える環境づくり
 - ・協働的な学びを支える学級づくりのため、WebQU調査を行う。教職員全体で具体的な解決策や対応策を検討し、親和的な学級集団づくりをめざす。
 - ・ICT端末活用のスキルの向上を図る。
 - ・家庭学習の習慣化を図る。

年間の主な行事

4月	入学式 新任式 始業式 健康診断 個別懇談 1年生を迎える会	10月	秋季大運動会 東山梨音楽発表会(4年) 修学旅行(6年) 県外旅行(5年)
5月	授業参観・PTA総会・学年部会 避難訓練 児童会総会 東山陸上記録会	11月	校内持久走大会
6月	新体力テスト プール開き 学校創立記念日(3日) こどもまつり 土曜参観・親子クリーンアクション	12月	個別懇談 児童会役員選挙 避難訓練 2学期終業式 冬季休業
7月	1学期終業式 夏季休業 自然教室(5年) 市水泳記録会	1月	3学期始業式 校内書き初め大会 新入児保護者説明会
8月	2学期始業式	2月	児童会総会 スキー教室(5・6年) 授業参観 学年部会
9月	避難訓練(小中合同引き渡し訓練) PTA環境整備作業	3月	6年生を送る会 卒業式 修了式 離任式

※体力アップタイム（中休み） ※音楽集会（年間3回：中休み）

日課時刻表 笛川小学校

山梨市立笛川小学校

児童登校	通常日課	教協日課(主に水曜日)	半日日課(13:45下校)
8:20			
さわやかタイム 朝の会		8:20~8:40	
1校時	8:40~9:25	8:40~9:25	
2校時	9:30~10:15	9:30~10:15	
中休み	10:15~10:35	10:15~10:35	
3校時	10:40~11:25	10:40~11:25	
4校時	11:30~12:15	11:30~12:15	
給食 歯みがき 自学スタンバイ		12:15~1:05 1:00~1:05(歯みがき) 1:05~1:15(自学スタンバイ)	
そうじ	1:15~1:30		
昼休み	1:30~1:45		
5校時	1:50~2:35	1:30~2:15	
6校時	2:40~3:25		
帰りの会	3:25~3:35	2:15~2:25	1:15~1:25
児童下校	4:00	2:40	1:45



令和7年度 学校要覧



一 琴の音きこえる テンテケきこえる
やさしい音色 こぼれる笑顔

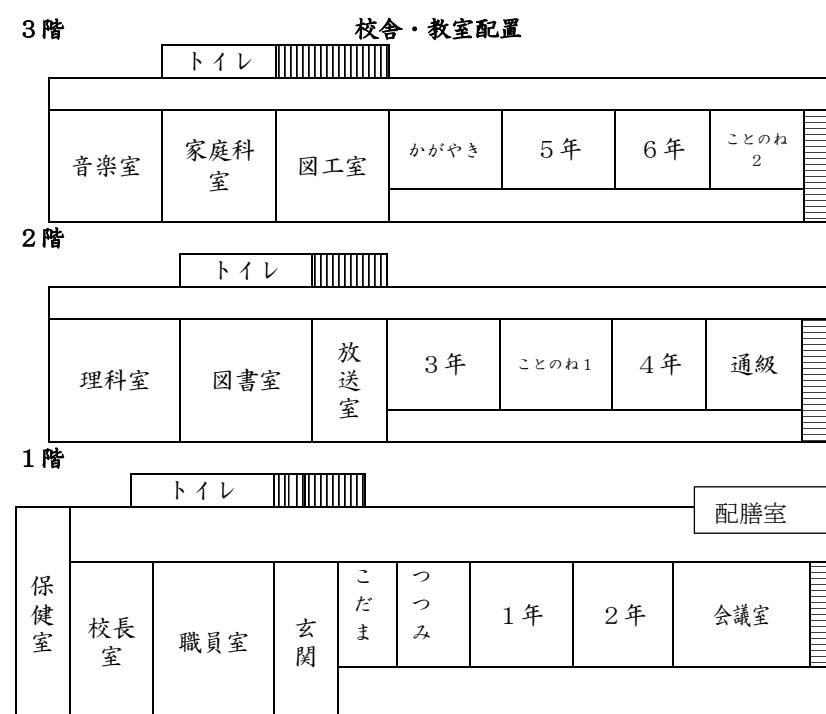
作詞・作曲 林 久悦

二 鼓がはずむ タントンはずむ
大地に響く ばくらの足音
大きな鶴が 羽ばたいて
教えてくれた 道を行こう

ひとりひとりが 希望の一粒だ 笛川小学校

三 笛の音流れる ピーヒャラ流れる
渓声 交わる ふるさとのハーモニー
足並みそろえて 意気高く

ひとりひとりが 勇気の一粒だ 笛川小学校



山梨市立笛川小学校

〒404-0013 山梨市牧丘町窪平 1200 (本校)

TEL 0553-35-2015

FAX 0553-35-3292

E-mail tekisen-e@es-jhs.kai.ed.jp

〒404-0001 山梨市牧丘町柳平 43 (分校一休校)

笛川小学校校歌

作詞・作曲 林 久悦

林 久悦